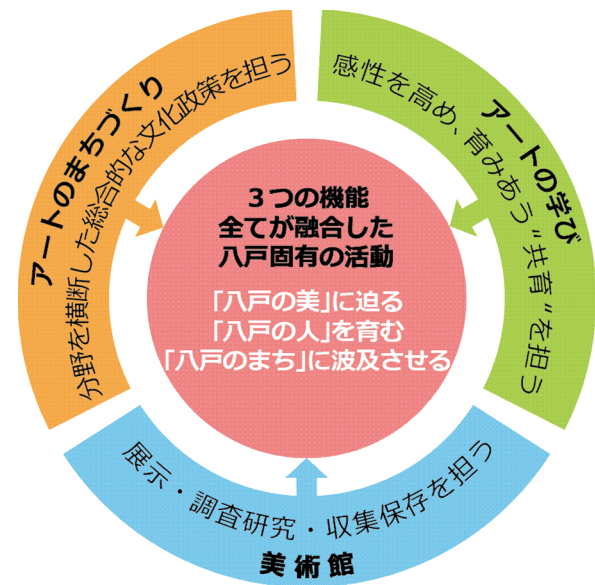


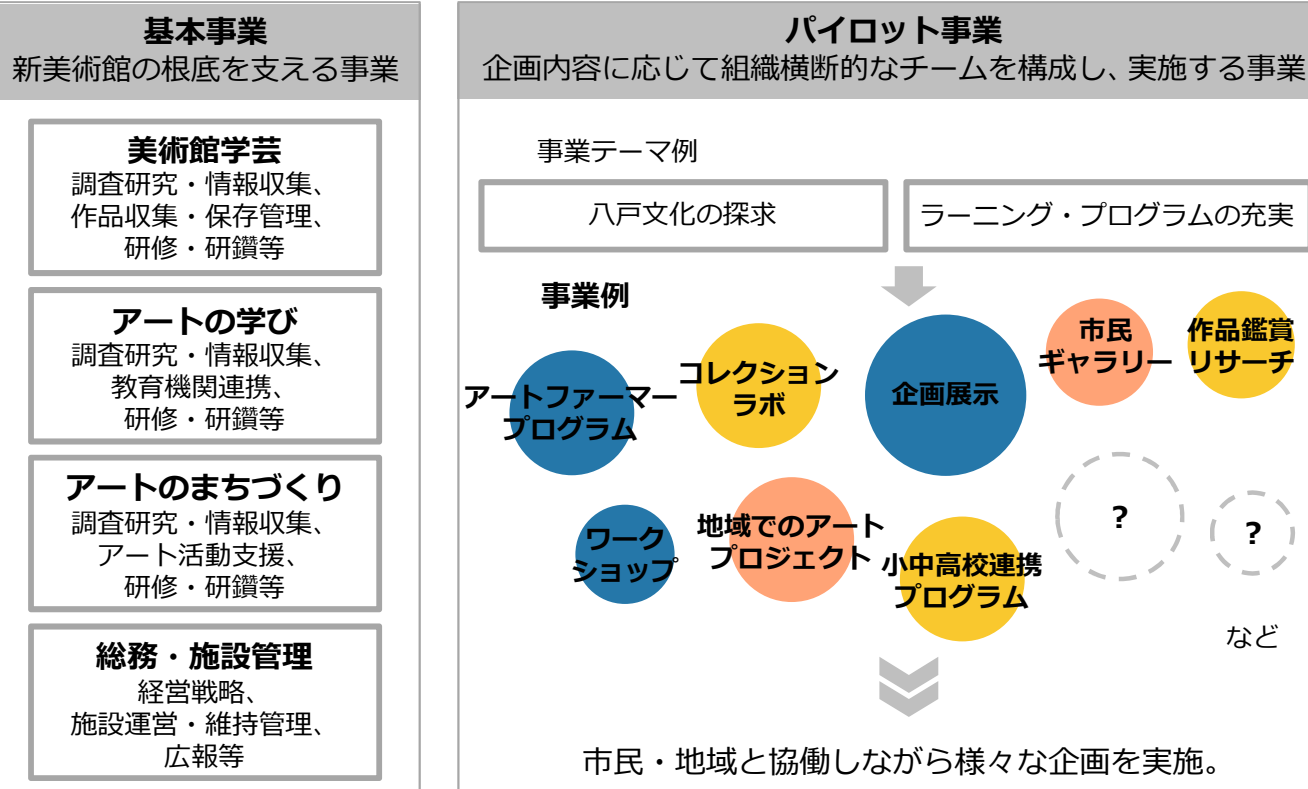
新美術館のビジョン・活動イメージ

「種を蒔き、人を育み、100年後の八戸を創造する美術館〜出会いと学びのアートファーム〜」というビジョンのもと、「美術館」「アート学び」「アートのまちづくり」の3つの役割を融合させた美術館としていきます。



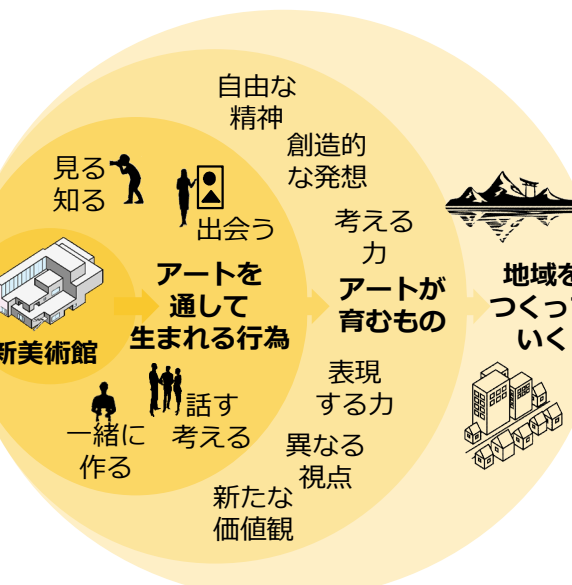
新美術館の事業構成

新美術館の事業は、活動の根底を支える「基本事業」と、基本事業の枠を超え、企画内容や目的に応じて組織横断的なチームを編成し、市民や地域と連携しながら実施する「パイロット事業」の2つから構成されます。



「アートの学び」を提供する美術館

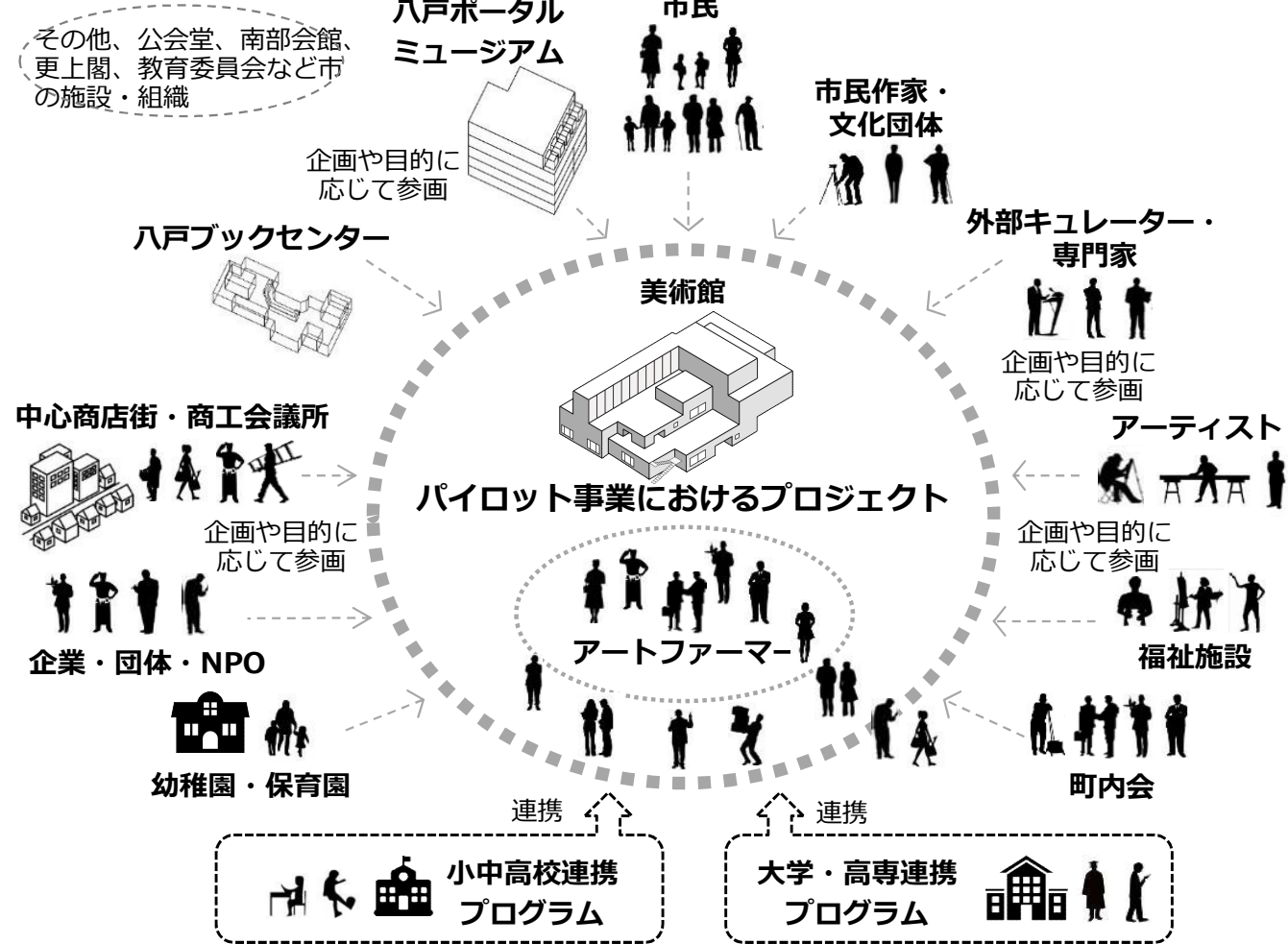
新美術館では、アートを通した学びに重点を置き、事業・活動を実施します。アーティストや美術館スタッフと市民が対話し、一緒に何かを作る、考える、学ぶなど、人々が出会うことで生まれる体験・経験を提供すると同時に、それらが育むものを尊重・重視します。



パイロット事業における共創パートナー

「市民・地域とともにつくる美術館」として、新美術館では、美術館のスタッフとともに地域の方々やアーティスト、教育機関、企業などが「共創」することを前提とした事業展開を図ります。美術館の活動と一緒にを行うパートナーを「共創パートナー」と位置付け、パイロット事業におけるプロジェクト・プログラムを実施します。開かれた美術館として様々な人々や組織・団体が参画できる仕組みを整え、市民・地域とともに企画立案し、実施していきます。

共創パートナー例



パイロット事業の企画例

